

■ 4刷（2019/3/18発行）から、5刷（2019/12/3発行）発行時改訂			
ページ	場所	誤（旧）	正（新）
19	放射線の基礎を学ぼう！① 7行目	言い方を換えると、「アルファ線」や「ベータ線」は短い距離で持っていた全エネルギーを周囲に与えてしまう。	言い方を換えると、重さをもった「アルファ線」や「ベータ線」は短い距離でもって運動エネルギーを周囲に与えてしまう。
23 28 47 52 58 64 72	表1	P23 表1 岩手県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P28 表1 宮城県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P47 表1 福島県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P52 表1 茨城県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P58 表1 栃木県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P64 表1 群馬県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数） P72 表1 千葉県市町村別放射性セシウム土壌汚染度（地点数）	<Bq/kg>による区分タイトル行を削除。  「※表の作り方や計算方法については、P.8「市町村別地点表のつくり方について」を参照。」という注釈を追加。
43	放射線の基礎を学ぼう！② 「放射性物質の危険性」	「放射性物質の危険性」 今回の原発事故時に環境へ多量に放出された「ガンマ線」を出す核種（I-131、Cs-134、Cs-137）が、「外部被ばく」で人体に向けて飛んでくる種類なので注意が必要となる。 一方、「内部被ばく」を考えた場合は、体に取り込まれやすく、特定の臓器に集まりやすく、体外に排出されにくい核種で「ベータ線」や「アルファ線」を出し（ヨウ素131⇒甲状腺、セシウム134・セシウム137⇒筋肉、ストロンチウム90・プルトニウム239⇒骨）、いつまでも（人間の一生分ずっと）放射線を出し続ける核種に最も注意が必要である。単純に半減期の長短では影響は決まらない。	「放射性物質の危険性 ～半減期の長短では危険性は決まらない～」 今回の原発事故時に環境へ多量に放出された核種（ヨウ素131、セシウム134、セシウム137）は「ベータ線」とともに「ガンマ線」を放出する。「ガンマ線」は遠方から人体に向けて飛んでくるので「外部被ばく」の危険性が高い。 一方、「内部被ばく」を考えた場合は、体に取り込まれやすく、特定の臓器に集まる核種（ヨウ素131⇒甲状腺、セシウム134・セシウム137⇒筋肉、ストロンチウム90・プルトニウム239⇒骨）は、体外に排出されにくい。ヨウ素やセシウムなど半減期が短い核種でも「ベータ線」による影響を考慮する必要があり、ストロンチウム「ベータ線」やプルトニウム「アルファ線」などを人間の一生分ずっと出し続ける核種は、体内に取り込まない注意が必要である。
60	「初期被ばく線量推定のために」本文3行目から	しかし、乳児のI-131の飲料に関する暫定的な規制値が100 Bq/Lだったので、実は規制値超であった。さらに、水道水の測定が開始される以前の15～16日に通過した高濃度ブルームによる水道水汚染については不明のままである。また、宇都宮市と比べて127倍の放射性降下物があったと推定された那須町やその周辺の那須塩原市や矢板市、日光市、塩谷町などの水道水汚染に関するデータはなく、配水停止措置も取られておらず、表流水を水源としていた場合には大変な摂取量があったものと懸念される。	但し、乳児の飲料に関するI-131暫定指標値が100 Bq/Lのため、県営鬼怒水道用水とともに乳児の摂取制限広報はなされた。しかし、測定開始前だった15～16日の高濃度ブルームによる水道水汚染については不明である。さらに、宇都宮市と比べて127倍の放射性降下物があったと推定された那須町をはじめとして県北の市町の水道水源は井戸、河川表流水、伏流水など様々であるが連続データがない。なお、3月20日以降各市町にいくつかの単発データがあり、その範囲内ではI-131も放射性セシウムも100Bq/Lを超えていない。
83	「放射性物質の市民生活への影響と…」左列6行目	0.23μSv/hかつ地上1cmで0.59μSv/h	0.23μSv/hまたは地上1cmで0.59μSv/h
106	「チェルノブイリ事故後に作られた「アトラス」に倣って」本文6行目	ベラルーシ政府チェルノブイリ省	ベラルーシ・ロシア両政府の非常事態省
106	参考文献	（じわじわと押し寄せるテロリスト）	（じわじわと押し寄せるテロリスト）を削除
106	事故当時の汚染マップ	事故当時の1986年（上）、70年後の2056年（下）の汚染マップ（ブヤンスク州地図）	事故当時の1986年（上）、70年後の2056年（下）の汚染マップ（ゴメリ州地図に変更）
107	減衰グラフ	放射性セシウム減衰グラフ	新版グラフに差し替え
113	小見出し	長期に渡り	長期にわたり
138	上の小見出し	同地域で採取されてもセシウム比率が異なるキノコと他の山菜類	「他の」を削除。
166	小見出し	ようやく手を付けた	ようやく手をつけた
174	本文右7行目	核燃料物質中に生成するプルトニウム239（同24万年）	核燃料物質中に生成するプルトニウム239（同2万4千年）
179	小見出し	日本では年20mSv以下は「避難指示解除準備区域」2017年3月に解除を実施	日本では「年20mSv超」が避難の判断基準
181	小見出し	毎年50人のがん死	1mSvの被ばくで毎年100万人中50人のがん死予備軍
197	助成金による活動支援	LUSH JAPAN「～2019年9月」	2018年10月～2020年3月
199	一番下 アイコンの説明	ALOKA社製	ALOKA
199	一番下 アイコンの説明	ATOMTEX社	ATOMTEX